

華岡青洲の妻 (1967)

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 日本

色彩 B&W

時間 99分

初公開日 1967/10/20

公開情報 大映

【解説】

有吉佐和子の同名小説を新藤兼人が脚色、増村保造が監督した。世界で初めて麻酔を使った手術を成功させた華岡青洲と、彼への愛を争う妻と母との確執を描いた文芸作。華岡家に嫁いできた加恵は、夫となる華岡雲平が京都へ遊学中だったため、彼の母である於継と二人で楽しく暮らしていた。しかし雲平が戻ると於継の態度が急変、於継は加恵を押しつけ雲平の世話を焼き始めた。名を青洲と変えた雲平は麻酔薬の研究を重ね、ついに人体実験を行うところまで来た。於継が自分を実験に使ってほしいと申し出たのを聞いて、加恵は逆上。自分こそ実験台にふさわしいと訴えた。

【クレジット】

監督 増村保造

製作 永田雅一 [製作]

企画 辻久一

原作 有吉佐和子

脚本 新藤兼人

撮影 小林節雄

美術 西岡善信

編集 菅沼完二

音楽 林光

出演 市川雷蔵

若尾文子

高峰秀子

伊藤雄之助

渡辺美佐子

丹阿弥谷津子

浪花千栄子

内藤武敏

原知佐子

伊達三郎

木村玄

南部彰三

舟木洋一

沖時男